

歯★ピカクラブ 10月号

● 今月のテーマは「歯肉炎」です。

● 歯肉炎になると、歯のまわりや歯と歯のあいだが赤くはれ、歯みがきをするだけで簡単に出血します。毎日の「ブラッシング」をしっかりと行い、歯肉炎を予防していきましょう！

● 歯肉炎といっても原因は色々あるんです!!

① 萌出性歯肉炎

→ 歯ははえるとき、歯にかぶさった歯ぐきを噛むことで傷つけてしまい炎症を起こしたり、その傷から細菌に感染して化膿することがあります。

😊 歯ははえることで炎症はおさまりますし、清潔にしておけば、自然によくなります。

② 不潔性歯肉炎

→ 歯に細菌のかたまり(歯垢)がついて、お口のなかが不潔になると歯ぐきに炎症が起きてしまいます。食べものが歯と歯のあいだの歯ぐきにつまっても、違和感がないのが子どもの特徴ですが、その上にさらに食べものが重なると歯の痛みとして訴えることがあります。

😊 原因を取りのぞいて清潔にすれば、炎症はおさまります。

③ ウイルス感染による歯肉炎

→ かぜで高い熱が出たあと歯ぐきが真っ赤にはれて、何もしていなくても出血することがあり、口臭が強くなることがあります。おろさんはお口のなか全体が痛いとかしみると言ってお食欲がなくなったりします。

😊

- ・ 歯みがき → 痛がるようなら一時中止して下さい。熱が下がり4〜5日で出血がなくなり、炎症が少なくなったら歯みがきを再開して下さい。
- ・ うがい → くすりとうがいを続けます。
- ・ 消毒 → 歯科医院で消毒してもらってもいいでしょう。

● こんな歯肉炎にもご注意!!

★ 思春期の歯肉炎(10歳〜)★

《症状》

・ 歯のまわりから歯ぐきがふくれて、はれや赤みなどの炎症が見られます。歯みがきで簡単に出血します。思春期によく見られる特徴のある歯肉炎です。

《原因》

・ ホルモンのバランスがくずれるため、お口の中の唾液の性状が影響を受けて細菌に対する抵抗力が低くなるためとされています。

● 歯肉炎は毎日の「ブラッシング」で治すことができます! 歯垢(プラーク、歯の汚れ)を取りのぞき、いつも清潔にしておきましょうネ!!